

平成29年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

飛騨市青少年育成市民会議

『地域ぐるみで 心豊かな飛騨市の子どもを育てよう』

飛騨市青少年育成市民会議では、古川・河合・宮川・神岡の4つの部会で青少年育成推進員が中心となって、各種団体の協力を得ながら家庭・学校・地域社会の連携を図り活動しています。その他、『少年の主張大会』の開催や、『家庭の日の推進』について取り組んでいます。

○ 古川部会

今年も6～7月に『ふれあい集会』を、地域の公民館など19の会場で行いました。今年で23回目です。この集会は、子どもたちが心身ともに健やかに成長していけるようにと、保護者、学校の先生、地域の方が一堂に会し、一緒に考え、話し合いながら、育成の取り組みが出来るようにと願い開催しています。

今年も延べ760名の方が参加され、新たな取り組みとして今年のテーマなどをPRするための「のぼり旗」を30本作成し、会場となる公民館や青少年育成推進員の自宅玄関先などに設置し、PRを行いました。地区集会の終了後には、各地区で出された意見、要望などを取りまとめ8月中旬に全戸に結果を報告しました。また、警察署、学校などの関係機関にも配布し意見、要望などが反映されるように依頼しました。



ふれあい集会 全体会議

H29. 6. 19 (月) 古川町公民館

○ 神岡部会

8月9日に少年補導員の方と夜間パトロールを行いました。

また、昨年に引き続き、10月15日に観光イベントの神岡飛騨獅子まつりに参加し、青少年育成PR活動を行いました。部会員が、「わが家の約束」、「子どもたちのネットの安全・安心な使い方」などのチラシを配布しながら啓発を行いました。また、おじさん・おばさん運動の紹介、会員登録も行い66名の方に加入をいただきました。



神岡飛騨獅子まつり

あいにくの雨にも負ケズ、青少年育成PR

○ 河合部会・宮川部会

河合・宮川地区では、部会員が新たに青少年育成の行事を計画、主催するのではなく、自身が地域や学校の行事へ出向き、青少年の状況を把握したり、地域の方に活動や取り組みを理解、実践してもらうことを目的に活動を行っています。河合地区では、ふるさと運動会（小学校と地域の運動会）や文化展（飛騨かわい いなかーにぼる 2017）、宮川地区では町民大運動会（小学校と地域の運動会）や文化祭に参加しました。大運動会では児童と一緒に啓発資材を地域の方に自己紹介をしながら配布するなど、子どもたちが地域の方とふれ合うきっかけとなる取り組みを行いました。



宮川町民大運動会

中学生ボランティアが、競技運営の他、青少年育成活動もサポートしてくれます。